

かがみい議会だより

No. 148
平成25年6月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒989-0401 福島県岩瀬郡鏡石町
不可沼345
電話 0248(62) 2110
印刷 南水山印刷



5月11日(土)鳥見山陸上競技場において第一小学校のスポーツフェスティバルが開催されました。息を合わせて走りながら、相手を気遣う心をはぐくむスポーツ教育。子どもらは額に汗して頑張っていました。

息を合わせながら...



岩瀬地方町村議会議員協議会総会

議員協議会総会

岩瀬地方町村議会 議員協議会総会開く

平成25年5月17日(金)午後4時から鏡石館において、平成25年度岩瀬地方町村議会議員協議会(渡辺己会長)総会が開催されました。

当日は来賓として、岩瀬地方町村会会長である遠藤栄作、鏡石町長、添田勝幸、天栄村長、県議会からは齋藤健治、県議会議長として宗方保県議会議員らが臨席する中、鏡石、天栄

三月には研修会



放射能と自然の関係を研修

3月1日(金)には24年度事業の締めくくりとして、研修会が開催されました。

講師にナチュラリストの横田清美先生を迎え「原発事故が自然界に及ぼす影響」と題した講演を聴講しました。

講演後の質疑応答では、除染の効果等について活発な質疑がありました。



議会運営委員会研修



議会運営委員会研修(栃木県野木町)

一月には国会議員要望

平成24年度国会議員要望活動は、衆議院議員総選挙の影響により1月25日(月)に行いました。

議会から渡辺議長、円谷副議長、木原総務文教委員長、長田産業厚生委員長、大河原議会運営委員長らが、遠藤町長とともに上京。国会議員会館を訪れ、県選出の国会議員に地震被害に対する新たな復興交付金の創出等を要望しました。

編集後記

町民プール「すいすい」は、町の誇る立派な施設ですが、利用者が少ないため毎年大きな赤字を計上してきました。議会でも利用拡大策や赤字削減のために議論を重ねてきました。

今回それらの議論をふまえ、町民に限り定期券購入者を半額にするという思い切った社会実験を開始しました。

町民プールはジャグジーやサウナ(採暖室)もあり、泳がない人でも気軽に利用することが出来、健康増進が図れます。

是非、町民の皆さんの気軽な利用をお待ちいたします。

発行責任者 渡辺 定己
議長 渡辺 定己
広報編集委員会
委員長 円谷 寛
副委員長 菊地 洋
委員 長田 守弘
委員 井土川好高
委員 大河原正雄
委員 木原 秀男



一般質問
今泉文克議員

○ 公共施設設置管理 「老朽化も含めた維持管理への対応は」

○ 公共用地借地料について 「地価下落に伴う借地料の見直しは」

町長

施設の統廃合については、どのように進めていくのか。また、27ある集会所設置条例はどのように規定されているのか。

質問

施設については、行政施設が3、社会教育施設が2、体育施設が7、学校教育が5、集会所が27、保健福祉が5、消防防災が10、上下水道が13で合計72施設がある。施設のランニングコストは毎年増加しており、統廃合も検討しなければならないと考えている。

総務課長

公共施設の新設等に合わせた施設の統廃合や、必要な施設の長寿命化を計画的に図りたい。

町長

現在の町の施設の分類別状況はどのようになっているか。また、老朽化を含めた維持管理費増加の対策はあるか。

質問



公共施設維持管理方法が大切

例えば放課後児童クラブ施設については、復興交付金事業で一小の敷地内に新設する予定である。そうすると、現在の児童館についてはどうするか。ということになる。こうした中で総合的に今後検討したい。

総務課長

施設の設置目的が補助事業を使う場合、独自に設置管理条例を制定する。集会所については、設置管理条例に基づき振り分け管理しているが、各集会所の運営規則の中で具体的なことを定めている。

質問

個人の宅地を利用しての休憩場所や花壇として小さな公園。また、水道関係のポンプ場用地や配水管の埋設用地がある。

総務課長

町が無償で借地している、無償施設の7件の内容は、どうなっているか。

質問



地価下落分については適正化を図り、借地料の再度見直しを行う。

総務課長

最近の地価下落に伴う公共用地借地料の対応策は、どのように考えているか。

質問

公共用地借り上げ料については、基本的に固定資産評価額を基に積算している。

総務課長

ている、土地の借地料はどうやって積算されているか。

質問



町の借地料を適切に

復興予算は2年連続105億円台に

平成25年度の予算総額は、一般会計と10特別会計等の合計で105億4,975万円となり、2年連続100億円を突破しました。

一般会計も70億円台となり、2年連続で70億円を超える大型予算になりました。

平成25年度各会計当初予算 (単位：万円)

会計区分	25年度	24年度	増減率(%)	
一般会計	705,000	711,000	△0.8	
国民健康保険特別会計	136,510	134,031	1.8	
後期高齢者医療特別会計	8,852	9,595	△7.7	
介護保険特別会計	68,524	70,885	△3.3	
土地取得事業特別会計	301	303	△0.7	
工業団地事業特別会計	4,675	7,034	△33.5	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	9,850	13,500	△27.0	
公共下水道特別会計	46,730	44,060	6.1	
農業集落排水特別会計	6,600	6,520	1.2	
育英資金貸付費特別会計	931	910	2.3	
小計	987,973	997,838	△1.0	
上水道事業会計	収益的	23,325	23,750	△1.8
	資本的	43,677	33,407	30.7
	計	67,002	57,157	17.2
合計	1,054,975	1,054,995	-	

復旧復興に2年連続 大型の予算を議決

平成25年度の予算等を決定する第7回鏡石町議会定例会は3月5日(火)開会し、45の案件を審査議決、15日(金)に閉会しました。今回の定例会では、東日本大震災からの復旧復興に係る3年目の予算の審査があり、その総額は2年連続で百億円

を超える大型予算審査となりました。このため、一般会計も2年連続で70億円を突破しました。

こうした震災からの復旧復興に向けて取組む積極大型予算を審議可決しました。予算審査では渡辺定己議長を除く全議員が委員となり、菊地洋議員が委員長となり、一般会計をはじめ各特別会計を審査しました。

歴史民族資料館など 9つの新条例制定

今定例会では、9つの新条例を審議可決しました。「鏡石町歴史民俗資料館設置に関する条例」は、成田幼稚園を閉園し、園舎を改築。町に残る伝統的な民具等を展示保管する施設として活用するものです。また、その他の条例については、地方分権一括法に



議会第7回定例会

より、従来国の法律で定められていたものを、権限移譲により町の条例で制定するもので「道路構造に関する基準を定める条例」等を審議可決しました。

国土利用町計画議決

昨年3月に議決した「鏡石町第5次総合計画基本構想」に基づき、今定例会では「国土利用(鏡石町計画)」が議案として提出され、全会一致で議決しました。議会では本計画について、全員協議会において審査議論し、今後10年間にわたる町の将来土地利用構想を検討してきました。



一般質問
古川文雄議員

○ 健やかな学校生活 「給食費はどのように決められるのか」 ○ 子どもの健康 「甲状腺検査の実施をどうするのか」 ○ 快適な交通環境 「町内循環バスサービスの実現は」

質問 学校給食事業において給食費の個人負担金が徴収されているが、それは何に使われているのか。また、給食費の負担額はどのようにして決められているのか。

教育長 給食費はパン、米、牛乳、その他食材の賄い代に使われる。小中学校とも栄養価の基準及び年間実施回数と食品価格変動を考慮して算出される。

質問 給食費の未納が大きな問題となっているが、町ではどの程度あるのか。未納率はどのくらいか。

教育長 給食費の未納額について、一小では11万8千円で全体の0.4%。二小は無。中学校では1万7千円となり、全体の0.07%であるが、年度末で0になる予定である。

質問 未納対策は講じられているか。対策の効果はどうか。

教育長 対策としては「対応マニュアル」により対応している。具体的には電話等による督促、家庭訪問そして授業参観時の話し合い等で未納額ゼロを目指している。対策効果はあるが、中には督促しても難しい場合がある。学校としては根気強く対応している。

質問 給食費の口座振替が廃止され、子どもが現金を持って行くが、防犯上の観点やきちんと納めている人が不便になっている点をどう考えているか。

教育長 ご指摘のとおりのも面もありますが、学校としても一括納入等も勧められており、現金の取扱いにもしっかりと対応したい。

質問 給食費未納の穴埋めはどうしているのか。食材単価を安くする方法なのか。

教育長 給食費については他の予算

から補填することが出来ないため、納入された金額での給食内容、具体的には食材の選定等で対応している。

質問 中学生英語体験学習の対象は1年生だけで、回数は1回のみか。

教育長 次世代を担う中学1年生を対象に英語研修を行い、英語学習の動機づけとしたい。

質問 中学校の参観日に救急車が出勤したようだが、その原因と対応策について聞きたい。

教育長 原因は男子生徒同士のじゃれあいがあり、生徒が過呼吸になったため、大事を取って救急車を要請した。この件に関し、職員会議及び学年集会で指導、さらに職員共通課題として全クラスにおいて事故防止に努めるよう指導した。

質問 平田村では甲状腺検査を受

診できるが、町の対応はどのくらいか。

健康福祉課長 小中学校において、県立医科大学による出張調査が開始される。検査費用は無償。

質問 赤字地方路線バスに多額の助成金を支出するよりも、町内巡回バスを運行した方が良いのではないか。

総務課長 バス利用者の実態等を考慮し、今後総合的に生活しやすい交通環境の検討をしたい。

質問 震災支援で、家屋の一部損壊と半壊とでは支援内容に差がありすぎる。独自の支援策も出ているが、十分とは言えないと思う。今後さらに支援策を打ち出す考えはあるか。

町長 町として一部損壊支援を打ち出し、延長も行ってきた。財政上の関係からこれ以上の検討は難しい。

質問 駅東開発のため多くの農地が市街化区域に編入されたが、そのメリットを生かしてメガソーラー基地を建設し、エコシティを目指してはどうか。

産業課長 駅東地区には26haの準工業地域がある。企業誘致を進めたいが、メガソーラー設置も企業誘致の手法として、調査研究したい。

質問 現在農地として利用しているものは、農地法で規制されることが多いが、耕作放棄地については、すぐにソーラーパネルを設置することはできないか。

産業課長 耕作放棄地でも農業振興整備に関する法律があり、規制されている。再生可能エネルギー等の有効性は理解しているが、規制緩和の動向等を注視し、対応したい。

質問 現在の街路灯は2つ灯って

いる。節電のためにも1つでよいのではないか。

産業課長 街路灯の交換等には経費がかかる。街路灯管理組合ではLED化を検討しており、この計画を支援したい。

質問 町公共施設の屋根にソーラーパネルを設置してはどうか。

総務課長 今年度3区コミュニティセンターに設置し、次回小学校、公民館に設置する予定である。

質問 久来石の東北旭紙業前の踏切で、脱輪事故を起こした車両があった。踏切が狭いためと考えるが、拡幅等何か、打開策はあるか。

町長 必要性は強く感じているが、踏切拡張には多額な事業費もかかるので、今後、手法について調査研究したい。

から補填することが出来ないため、納入された金額での給食内容、具体的には食材の選定等で対応している。

質問 中学生英語体験学習の対象は1年生だけで、回数は1回のみか。

教育長 次世代を担う中学1年生を対象に英語研修を行い、英語学習の動機づけとしたい。

質問 中学校の参観日に救急車が出勤したようだが、その原因と対応策について聞きたい。

教育長 原因は男子生徒同士のじゃれあいがあり、生徒が過呼吸になったため、大事を取って救急車を要請した。この件に関し、職員会議及び学年集会で指導、さらに職員共通課題として全クラスにおいて事故防止に努めるよう指導した。

質問 平田村では甲状腺検査を受

質問 駅東口南側は雑草が茂り、駐輪場南には亀裂がある。危険でもあるし、車窓からの景観も悪い。もっと美観を高めたいか。

総務課長 現地は確認している。応急処置を早急に進めたい。

質問 除草管理も手がかるが、駐車スペースにすれば車が駐車して草が生えない。西側駐車場との関係があれば、舗装して貸せばよいのではないか。

総務課長 震災から駅周辺整備が求められている。防災機能強化も含めて、整備計画に盛り込んでいきたい。

質問 公共施設借地の無償化は奨励すべき。有料借地代の見直しは地価下落に併せて行うべきと考えるが、どのような土地評価を行っているのか。

総務課長

質問 固定資産税評価額を参考として地代を決定している。25年度に借地関係と評価関係について再検討したい。

質問 高い地代のようなところは買い上げか、施設の移転も検討してはどうか。

総務課長 移設等については総合的な判断が必要となる。実態を十分精査したい。

質問 合併浄化槽について、郡山市では維持管理費についても補助金を交付している。町にその考えはないか。

上下水道課長 合併浄化槽維持管理費に対する補助は、郡山市以外は実施していない。近隣市町村と情報を共有しながら研究課題としたい。

一般質問
円谷 寛議員

○ エコシティのまちづくり 「一大ソーラー基地をつくってはどうか」 ○ 駅東口の整備 「駐車場花木の植栽で美しく」





○ 財政健全化の展望
「抜本的改革の取組計画はあるか」
○ 体育施設管理
「町民プールは必要なのか」
○ 水稻のセシウム対策
「カリ肥料助成の取組みはどうか」

質問 震災復興に向けて大型予算が組まれているが、町財政健全化の取組状況は、具体的にどうなっているか。

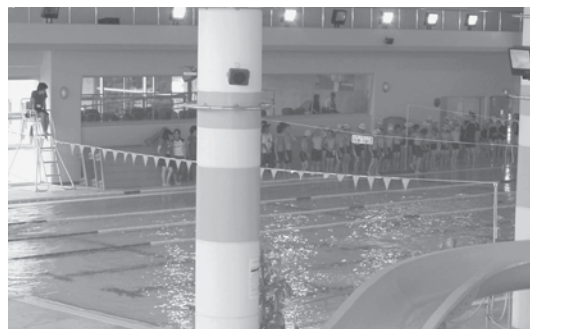
総務課長 当初予算編成において交付税措置のない事業債については、極力計上しないよう指導している。

質問 健全財政の結果を見据えた目標並びに、長期的な計画はあるか。

総務課長 起債の種類選択により一般財源の負担軽減が図られることも有効な手段であり、現在財政健全化計画に基づく対策を行っている。

質問 色々なキーワードがあると思うが、財政健全化の方策とその要点は何か。

総務課長 普通会計では繰上償還を実施し、公債費の圧縮に努めた。



町民プールの見直しも大切

質問 町民プールには多額な経費が投入されているが、このまま維持できるのか。

教育長 平成19年から指定管理者制度を導入し、経費削減を図っている。



質問 利用者の推移からも多くの増加は見込めない状態だ。このまま維持するのは困難ではないか。運営内容をもう一度検討すべきではないか。

教育長 経費も、以前からすると削減している。冬期間の子ども無料券等により利用者も増加している。いろんな策を講じて維持したい。

質問 放射性セシウムの吸着、抑制に効果があるといわれるカリ肥料の助成について、どの



水田除染費用の助成は

ように取り組んでいくのか。

産業課長 塩化カリ及びケイ酸カリの助成を実施してきたが、今後もカリ助成は実施したい。

質問 対象者は希望者のみか。また、カリも種類によって価格が違うが助成内容はどうか。

産業課長 カリ購入散布の判断は、各農家に判断していただきたい。価格は違っても2分の1助成したい。



○ 小児・産科医療
「公立岩瀬や国立福島病院から小児産科の医師がいなくなったらどうするか」
○ スポーツ施設利用
「町内団体の優先使用ができないか」

質問 安心な町づくりには医師の充足は欠かせません。公立岩瀬病院や国立病院機構福島病院から小児科や産科の医師がいなくなるとの報道があったが、町の対応策はあるか。

町長 地域医療は極めて重要である。須賀川岩瀬地方及び石川地方では周産期医療の寄付講座制度を利用して、平成26年度までは県立医科大学より、小児科医師を継続して派遣することとなった。

質問 不時沼地区では、農業水路が住宅と国道の間を通っている。この水路をサイホン化し、地区民の安全と利便性向上に役立ててはどうか。

産業課長 この農業用水路は矢吹原土地改良区の幹線水路で、管理も改良区が行っている。費用や技術的な問題もあるが、改良区と協議したい。

質問

都市建設課長 この道路については行政区からも要望が出ている。町内の道路については優先順位を定め、年次的に進めているので、今後改修検討を行う。



質問 大震災では水と食料の保管の大切さを痛感した。旧3区コミュニティセンター跡地に地下貯水槽を設置し、飲用水と防火用水に分けておいてはどうか。また、備蓄倉庫に救護物資の用意はあるのか。

総務課長 循環型耐震性貯水槽は一小敷地内に設置を予定している。救護物資については、町の防災倉庫及び一小の備蓄倉庫に計画的に備蓄している。

質問 3区コミュニティセンターが新たに建設されましたが、この付近には子どもの遊園地がありません。住宅も増えてきており、若い世代も多くなります。親子のふれあいや地域の交流の場として、遊園地の設置が考えられないか。

健康福祉課長 町内の児童公園は17カ所ある。3区には不時沼遊園地があるが、当該地付近の子どもには、遠いと思われます。今後、補助事業等を調査し、財源の確保を含め、検討する。

質問 鳥見山の運動施設は他市町村のスポーツ団体も利用しているが、時には町のスポーツ団体が使用できない時がある。町の団体が優先的に利用することができないか。

教育長 震災後多くの利用申し込みがある。優先順位としては1番が社会・学校教育、2番が町内団体、3番が他市町村団体、4番が個人利用となっている。

教育長 震災後多くの利用申し込みがある。優先順位としては1番が社会・学校教育、2番が町内団体、3番が他市町村団体、4番が個人利用となっている。



スポーツ施設を町団体優先に

いる。一般の個人利用については申請順なので、早めの申請をお願いしている。

質問 多目的スポーツ広場について、野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボール等が一堂にできるスポーツ広場は町外からの集客にも有効である。建設を検討してはどうか。

教育長 町にはそれぞれ多くの施設がある。それらの施設を利用して、健康の保持増進を図ってほしい。

審議の結果（第7回定例会） * 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

議案の概要	結果	岡谷	古川	菊地	長田	小林	畑	井土川	大河原	今泉	仲原	木原	渡辺
新型インフルエンザ等対策本部設置条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路構造に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路標識構造に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市公園移動等円滑化に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歴史民俗資料館設置に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西原地区改善センター設置及び管理に関する条例廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路占用料徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水処理施設設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町立幼稚園設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国土利用計画（鏡石町計画）の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q今泉議員「国道4号バイパス計画が現道の4車線拡幅となった。国道東側北部の須賀川市隣接部が保全地域だが、住宅地の要望もある。どのように考えているか」 =A町長「まずは既存の市街地を住宅で埋めることが大事。北部については、今後の課題としたい」													
ふれあいの森公園管理棟建築工事請負契約の締結	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q菊地議員「入札した業者名及び坪単価や面積については、どうなっているか」 =A産業課長「入札業者は6社。建築延床面積は202.47㎡で61.25坪となっている」													
公共下水道災害復旧工事(境小分区)変更契約締結	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
Q菊地議員「12月には測量ミスとの報告があった。今回は過少計上との説明だが、町側のミスか業者のミスなのか」 =A上下水道課長「業者の計上によるものだが、現場での施工上やむを得ないものもあり、了承した」 Q菊地議員「12月定例会でも5千万円弱の増額があった。業者のミスで増額するのは如何なものか」 =A上下水道課長「施工上数量に差が生じたもので、管理した我々の立場もある」													
一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q今泉議員「職員人件費について災害派遣職員負担金は何名で何か月になるのか。財源は何か」 =A総務課長「自治体派遣は1名。東京からは2名派遣されている。期間は1年で財源は国から補填される」 Q今泉議員「土木費の道路新設、中外線の物件補償2件の内容はどうか」 =A都市建設課長「ニプロの水道移設及びN T T電柱11本の移設費である」													
Q岡谷議員「農業災害施設に係る2億円減額の内容は何か」 =A都市建設課長「羽鳥水路改修工事の工法変更が、県に認められなかったため減額した」													
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工業団地会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東区画整理会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
育英資金会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度各会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問
木原秀男議員



○ 学校教育とクラブ活動の体罰
「クラブ活動で体罰しごきはあるのか」
「体罰と暴力の判断はどこで分けるのか」
○ 学校の食育
「食物アレルギーへの対応はどうか」

質問 学校教育における体罰について、教育委員会の指導方針は、どのようなものか。

教育長 身体に殴る蹴る等の行為、また、正座や直立等を長時間保持させる等の肉体的苦痛を与えるような懲戒体罰は、行ってはならないと考えている。

質問 部活動での体罰、しごき、イジメの実態はどうか。

教育長 現時点で、それらの報告はありません。

質問 体罰と暴力の判断は、どこでするのか。

教育長 体罰かどうかは客観的に判断されるべきで、子ども一人ひとりの状況に配慮した行為であったかどうか等の観点が重要。学校での指導の体罰は、暴力行為と考えている。

質問 学級崩壊は現実にあるのか。

教育長 各学校とも、学級崩壊といわれる学級はない。今後とも先生方の資質向上と学校の教育力向上を図り、そのようなことのないよう努めたい。

質問 学校と保護者とのコミュニケーションはとれているのか。

教育長 各学校において家庭訪問、保護者会、学校便り、学年便りによる情報発信を通じて、児童生徒及び学校に対する理解と協力を保護者に対して求めている。

質問 モンスターパーアレントという現実はあるか。

教育長 そのようなことはない。保護者からの疑問や意見、苦情に対しては、各学校とも真摯に受けとめ、丁寧に説明し、お互いの信頼関係の構築に努めている。

質問 服装の乱れとあいさつの励行は、どのように指導しているのか。

教育長 服装は安全面、健康面、活動面そして衛生面等を考慮し、指導の徹底を図っている。挨拶については、各学校で根気よく日常指導を実施することが必要であり、登校時の実践や各集会での指導で、主体的に挨拶できるようにしている。

質問 小中学校における食育指導は、どのようになっているか。

教育長 年度当初学校ごとに、食育全体指導計画を作成し、生涯に渡り健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、生徒一人ひとりが正しい食生活の習慣を身につけるよう指導している。

質問 保護者への食育指導は、どうなっているのか。

教育長 役場職員の昼食場所は、窓口対応もあるので、別に確保する必要があるのでないか。

質問 望ましい食習慣について家庭、地域への普及啓発を図るため学校便りや保健便りの発行、また給食試食会を実施し、学校における食育について保護者の理解を求めている。

教育長 食物アレルギーへの対応は、どのようにしているのか。

教育長 児童生徒の健康調査を実施し、実態の把握に努め、職員会議等で対応を確認している。給食での対応を希望する場合は本人、保護者、学校関係者と相談して、献立の変更等で対応している。

質問 庁舎スペースの関係から、別室での対応は難しい。窓口業務については、当番制により昼食時間を変えている。

総務課長 庁舎スペースの関係から、別室での対応は難しい。窓口業務については、当番制により昼食時間を変えている。